

第 8 期 pES club シナリオ 4

平成 21 年 4 月 26 日

日本大学歯学部保存学教室 歯周病学講座

蓮池 聡

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは合格率 70%の国家試験を乗り切り、晴れて黒蘭歯科大学の研修歯科医として、患者が配当されることになりました。2人目の配当患者は羽久喜紅夫さん（57歳男性）です。下町で小さな商店を夫婦で営む羽久喜さんは、下の前歯がグラグラすることを主訴に来院しました。急性症状は無いようだったので、初日は問診・口腔内診査・歯周組織検査、スタディモデルの採得、口腔内写真撮影を行いました。それぞれの手技は学生時代に経験していたもののなかなか手際よく進まず、あっという間に2時間が経ってしまいました。羽久喜さんも疲れていたため検査結果の説明は次回行うことにして、歯科放射線科に寄って、14枚法によるX線写真を撮って帰ってもらうことにしました。

あなたは、検査結果をもとに羽久喜さんに話す内容を、指導医に相談しつつ考えました。一週間後、いよいよアポイントの日が訪れました。

あなた「先日の検査の結果なのですが、揺れが見られる歯が3本ほどあります。レントゲンを見ましても、歯を支えている骨が溶けてしまっている部分が確認できました。羽久喜さんは歯周病です。それも中等度から重度の状態と言えます。残念ながら抜いてしまったほうが良い歯もありますね」

羽久喜さん「はあ・・・。そうですか〜」

あなた「歯周病は汚れが原因ですから、歯ブラシを頑張って頂く必要がありますね」

羽久喜さん「歯ブラシねえ〜」

あなた「歯周病も生活習慣病ですから、まずは生活習慣を正さなければいけません。決まった時間に食事をし、食後には必ず歯磨きをするようにして下さいね」

羽久喜さん「はあ・・・。そうですかあ〜」

あなた「運動習慣や睡眠時間も重要ですし、たばこは特に大きく影響します」

羽久喜さん「たばこなら20年前にやめましたよ。でも、お酒はどうなのですか？」

あなた「お酒ですか・・・。う〜ん。飲んじゃうと歯磨きせずに寝ちゃうから・・・」

羽久喜さん「酒は百薬の長！たばことは違いますよね？」

あなた「そうですねえ。ええ・・・。そのお話は次回改めてしましょうね」

飲酒習慣は歯周病と関係があるのだろうか？あなたは、羽久喜さんにきちんと説明できるようにするために調べてみることにしました。

第 8 期 pES club シナリオ 4 (追加シナリオ)

平成 21 年 4 月 26 日

日本大学歯学部保存学教室 歯周病学講座

蓮池 聡

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

羽久喜さんの歯周ポケットの状態は、6点法によるプロービングの結果、約90%の部位で4mm以上を示し、最深部は11mmでした。BOPは52%でした。また、X線検査では、全顎的に歯根の1/2から2/3にいたる水平性の歯槽骨の吸収をみとめ、カップ状の骨吸収により浮遊歯とみられる箇所が2歯あります。垂直性の骨吸収も数カ所でみられます。まだPCR値は計測していませんが、口腔清掃状態は不良と言えます。1日2回、ナイロン製の歯ブラシで磨いているそうですが、補助清掃器具は使っていないとのこと。

羽久喜さんは20年前に医師から高血圧症を指摘され、定期通院をしています。現在、フルイトラン(1mg)0.5錠分1を内服していて、コントロールは良好です。

毎日晚酌を欠かさず、500mlの缶ビールを1缶ないし2缶飲んでいるとのことですが、最近では体に気を使って、糖質含有量が低い発泡酒を選ぶようにしているようです。月に2回ほど、近所の仲間と飲みに出かけることがあり、その際には焼酎を飲むことが多いそうです。

父は昨年他界しましたが、母は健在です。父は上下顎ともに部分床義歯を装着していたそうです。母は義歯を使っていないとのことですが、歯周病であるかはよくわかりません。姉が1人いますが、九州在住で、口の中のことまではわからないそうです。